

大阪 高槻はにわラウンド報告書



令和4年9月3日(土)ハイブリッド方式による「高槻ラウンド」を開催しました。今回は、高槻市立阿武野中学校の会場に集まった17名とZOOM参加の10名、合計27名の方に参加いただきました。

ハイブリッドでの開催も少しずつ慣れてきたもののバタバタしてしまい、参加の皆様にはご迷惑をおかけしてしまいましたが、日ごろ生徒が学習している教室で生徒の机と椅子を使っていただき、どこか懐かしさを感じていただいた参加者の先生もおられたようです。生徒の硬い椅子と長時間お付き合いいただき、ありがとうございました。



1. 「健康・安全に関する態度及び思考力、判断力、表現力等の指導について」

高橋先生からは、まず、学校管理下での突然死の現状についてお話をいただきました。「突然死」とはどのようなものなのか、校種別・年齢別等の発生状況などをご説明いただき、突然死を予防するためには保健体育科教員として予防のための知識を得ることや子どもの健康状態を把握して指導することが大切であることを学びました。また、資質・能力を育成するための授業づくりに向けて、学習指導要領解説をもとに、「学びに向かう力、人間性等」の汎用的な知識の理解及びキーワードと想定される姿についてお話しいただきました。

2. 「陸上競技（走り高跳び）における健康・安全に関する指導事例」

高槻市立川西中学校の西田先生からは、走り高跳びの授業を例に健康・安全に関する指導事例を発表していただきました。日本スポーツ振興センターのデータを活用して走り幅跳びに多いけがの事例をもとに指導計画を立てたり、保健分野の傷害の防止の単元と関連させた指導を行ったりしておられるなど具体的に説明していただき、大変参考になりました。

3. ワークショップ「各領域における健康・安全に関する具体的な指導と評価について」

水泳の事故防止に関することや部活動における安全マップなどの様々な資料から、何のために安全指導をするのか、指導者の管理スキルや生徒の危機回避スキルを向上することが大切であることなど、佐藤先生からお話をいただきました。その後、ZOOMのブレイクアウトルームを活用して、グループごとに選んだ領域について健康・安全の具体的な指導（概念知・具体知・教材・発問など）を考えるワークを行いました。

学年(1) 領域(器械運動・マット) 態度の内容(健康・安全)
 検討グループ(E)

解説の表記

健康・安全に気を配るとは、体調の変化などに気を配ること、器械や器具や練習場所などの自己や周囲の安全に留意して練習や演技を行うこと、体力や技術の飛躍に応じた技や条件を変えた技及びその危険性を認識して挑戦することなどを示している。そのため、体調に異変を感じたら練習を中止すること、器械や器具の安全な取扱い方ややり止めなどの使い方の、技の打ち方と起こりやすいけがの事例などを理解し、取り組めるようにする。

概念知(する意味)	教師の働きかけ	発問
<ul style="list-style-type: none"> 「直前や直前で怪我を発生させること」個人の可及的に指導するスポーツに安心して子どもが取り組めること 「自分の安全を確保し、周囲の安全を確保すること」 「自分の安全を確保し、周囲の安全を確保すること」 	<ul style="list-style-type: none"> 場面・教材 <ul style="list-style-type: none"> ● 種別・教材 ● 場内 ● 知識・技能 ● 思考力・判断力 ● 態度・規範 ● 教材 ● 教材・道具 ● 教材・道具 	<ul style="list-style-type: none"> 「アが何やら、どんな様子が起きました?」 「いつか共通する現象とそうでは、何物?」 「何が起こった?」 「どうしたら防げます?」 「同じ場面ではなかった?」 「同じ場面ではなかった?」 「正しい(安全な)行い方ではあるか?」

具体知(何をやるのか)

- ・自分の練習の姿勢・要を配る
- ・マットに練習がけがを発生させる
- ・マットの設置場所に向き配る
- ・自分の姿勢や体力にあった技を遊ぶ、練習の場を遊ぶ
- ・自分の姿勢や体力にあった技を遊ぶ(「それやめ」といふ)など
- ・安全指導の目的
- ・安全指導の目的
- ・安全指導の目的



4. まとめ

体育・保健体育の授業の中で、毎日・毎時間必ず行っている健康・安全の指導。指導者が子どもたちに「注意」するだけではなく、子どもたち自らがけがをしないようにするために、命を守るために授業で考え実践できるようにするためには、私たちはどのような授業づくりをしていくのか・・・。「健康・安全」に特化した今回のラウンドでしたが、参加者からは、「教師が一方的に指導するのではなく、子どもたちが自分事として安全について考えていけるような授業をつくってほしい」というような感想をいただきました。

来年は、どんな高槻ラウンドになるのか・・・また高槻でお待ちしています。 みなさま、ありがとうございました。(文責：岩佐知美)